

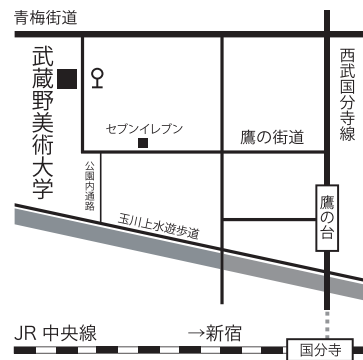
出品

しかし彼らが背負うことになった社会的・政治的問題を、他でもない作品や展覧会に反映させていこうとすることはそう簡単なことではない。この展覧会の参加作家である、朝鮮大のチョン・リエヤリ・ジョンオクが、在日朝鮮人の問題や日本と北朝鮮との関わりを、自らの切実な問題としてとらえているのは当然のことである。しかし彼女らが朝鮮籍であり、同時に日本で生まれ育った20代の女性であり、独立したひとりの人間であり作家である、という事実は、そのどれもが彼女らの作品制作に等しく重要な意味を持っているはずだ。一方で武蔵美の午居悟、土屋美智子にしても、身近になった在日朝鮮人の問題をはじめ、さまざまな社会的・政治的問題を咀嚼し、また別の文脈からつくり出したものは、単に感覚的なものに取まらない複雑な社会性を抱え込んでいるだろう。

いかなる状況においても、作品が生まれる場所には必ずひとりの孤独な人間がいる、と僕は思う。限られた狭い場所でさらに狭い世界を内包したひとりの孤独な人間。その狭い世界は、実は本人ですら正確に把握することのできない、得体の知れない底なし沼のようなところである。そして個人の中の底なし沼と、それとは対極にあるはずの社会や世の中が持つ捉えどころのなさ、実は別のものとして切り離すことができないものではないのか。そこでは使い慣れたことばは通用せず、その世界とコミットするためには、眠っている力、つまり「想像力」を起動させるしかない。

武蔵美と朝鮮大との関わりを根底にあるのは、お互いの塀の向こうに、得体の知れない社会的・政治的世界が確かに存在している、ということである。それはテレビやインターネットが伝えるどこか他の世界の出来事ではなく、日常に刻み込まれたこの塀ぎわに立つ彼らの肉体と地続きの世界なのだ。最初から社会的・政治的問題を内包したこの展覧会で、4人の作家たちがアトリエに還り孤独に還ることは、決して現実逃避ではない。アトリエの床にしたたり落ちた絵具に、白々しく光る蛍光灯に、塀の向こうの少し雰囲気の違い建物に、そのどれにも、こういってよければ、逃れられない救いのなさが宿っている。それはつまり、リアル/現実といいかえてもいい。4人の作家たちはアトリエに流れ込んでくる社会や世の中を受け止め、それを自分たちのリアルと対峙させることができるだろうか。そうしてずっと孤独なアトリエに留まり続けることができるだろうか。

FAL



- JR 中央線国分寺駅のりかえ西武国分寺線鷹の台駅下車徒歩 20分
- JR 中央線国分寺駅北口から西武バス武蔵野美術大学下車

「孤独なアトリエに、還る」 袴田京太郎/기획/하카마다쿄타로우/Hakamata Kyotaro (彫刻家・武蔵野美術大学教授)

アトリエは作家にとって自由を保障された場所である。作家はそこで自分のイメージや素材や技法について考え、時間的、物理的、肉体的限界まで制作をする。今まで見たこともないような素晴らしい作品を、紛れもないこの手で作る出すために。しかし作家たちが厳しく作品と向き合う正当な場所としてのアトリエは、外の世界、つまり社会や世の中から見れば、居心地のいい隔絶された場所でもある。作家たちの努力が切実であればある程、アトリエはリアリティを増し、結果として閉じていく。切実に自己完結したアトリエは、外の世界とつながる必要などないのかも知れない。現在でも多くの美術作品がそういった閉じたアトリエから生まれてきている一方で、美術が社会に対して閉じることが罪悪のように語られるという現実もある。外の世界とアトリエとの関係は現代の「開かれた美術」の在り方において、なにか重要な意味を孕んでいるように思える。

「武蔵美×朝鮮大 孤独なアトリエ」は、隣接する武蔵野美術大学と朝鮮大学校との交流から生まれたものだ。その始まりは2011年9月、武蔵美大油絵学科の当時3年生であった灰原千晶が「渡れるかも知れない橋」という作品を制作したことに端を発する。塀1枚隔てた隣同士の大学が、何十年ものあいだまともな交流がないという奇妙な事実疑問を感じた灰原は、両校を隔てる塀の武蔵美側半分だけに橋を架ける、ということを試みた。制作中に起こった朝鮮大生たちとのさまざまなコミュニケーションを取り込みながら、その作品は単なるイメージで終わらない強度を持っていた。それをきっかけに武蔵野美大油絵学科と朝鮮大美術科の学生たちとの交流が始まり、合同展としては3回め、このFALを会場にしてあらたに組織された展覧会としては、昨年の「武蔵美×朝鮮大 この場所にいるということ」に続く第2回展である。

朝鮮大学校の学生はほとんどが日本で生まれ育った朝鮮籍の在日3世、4世ということもあり、両校の交流は素朴な大学間の交流でありながら、日本と北朝鮮、在日朝鮮人と日本人という社会的・政治的問題を意識せざるをえない状況にあった。しかしそのような一筋縄でいかない問題を、両校の若い学生たちは柔軟な視点で等身大にとらえ、少しずつ時間をかけて交流のかたちができあがっていった。それを可能にしたのは社会的には大きな隔たりのある両校の学生たちが、作品に向かう制作者としてはなんら変わるところのない意欲や、前向きな問題意識を共有していたことが大きかったように思う。

[トーク] アーティストトーク「アトリエと社会/作品が生まれる場所」
10月25日(土) 15時~16時半
出品作家全員+企画者
アーティスト トーク<아틀리에와 사회/작품이 태어나는 장소>
10월25일(토) 15시~16시반
출품작가전원+기획자

[巡回展情報] 巡回展
2014年11月1日(土)、2日(日) 10時~18時
朝鮮大学校美術棟 1階展示室
巡回展
시일: 2014년 11월 1일(토), 2일(일) 10시~18시
회장: 조선대학교미술당 1층전시실

[お問い合わせ] www.musabi.ac.jp chodemi.jimdo.com/

[協賛] MARI 絵画教室

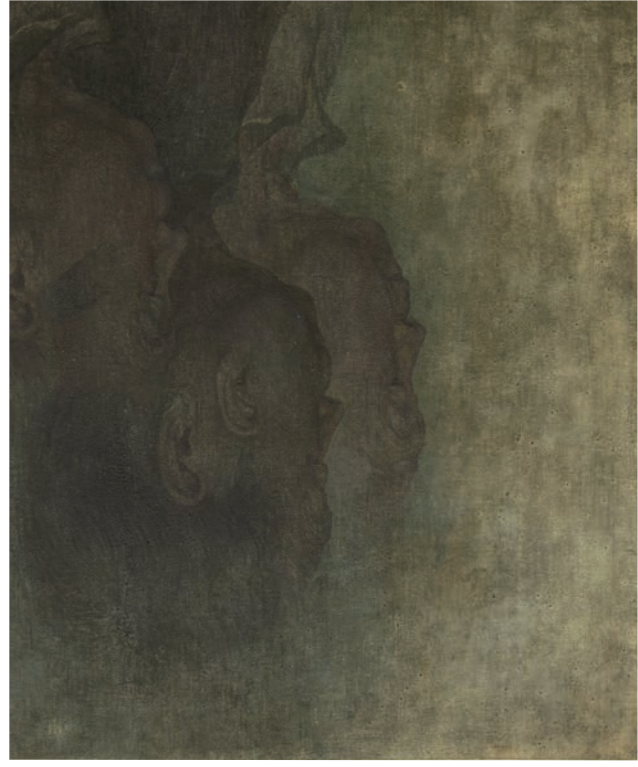
土屋美智子

午居悟



photo by Syouko Takizawa

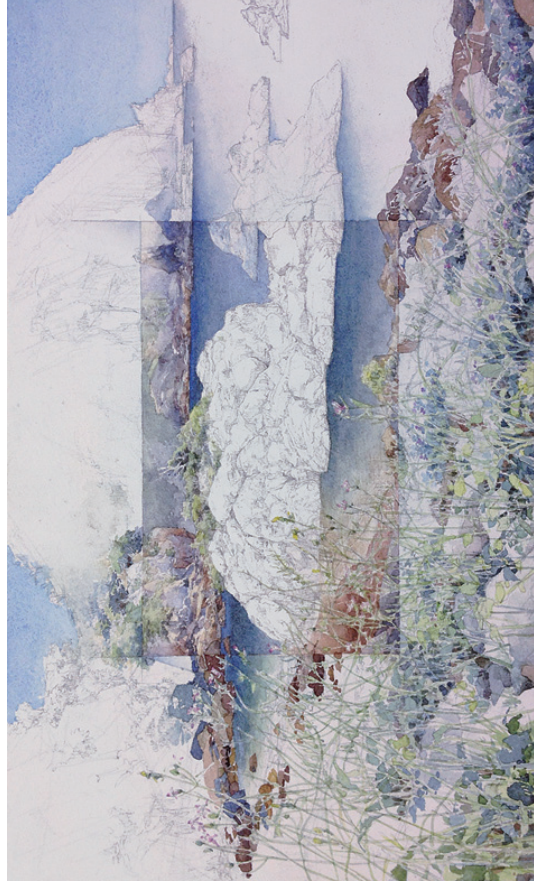
鄭梨愛/정리애/Chong Ri Ae
1991年 神奈川県出身/2004年 横浜朝鮮初級中学校卒業/2010年 北海道朝鮮初中高級学校卒業/2012年 朝鮮大学校教育学部美術科卒業
2014年 朝鮮大学校研究院総合研究科美術専攻在学中



「無題」52.8cmx40.8cm 木製パネル、絹布、白亜、油彩

李晶玉/리정옥/Lee Jong Ok

1991年 東京都出身/2007年 西東京朝鮮第一中学校卒業/2010年 東京朝鮮中高級学校卒業/
2012年 朝鮮大学校教育学部美術科卒業/2014年 朝鮮大学校研究院総合研究科美術専攻 在学中



「libenter homines id quod volunt credunt.」 M8号 水彩 2014年

ノート「1月4日」

ノート「11月2日」



ドローイング 2014年 鉛筆

ドローイング 2013年 鉛筆

ノート「9月5日」

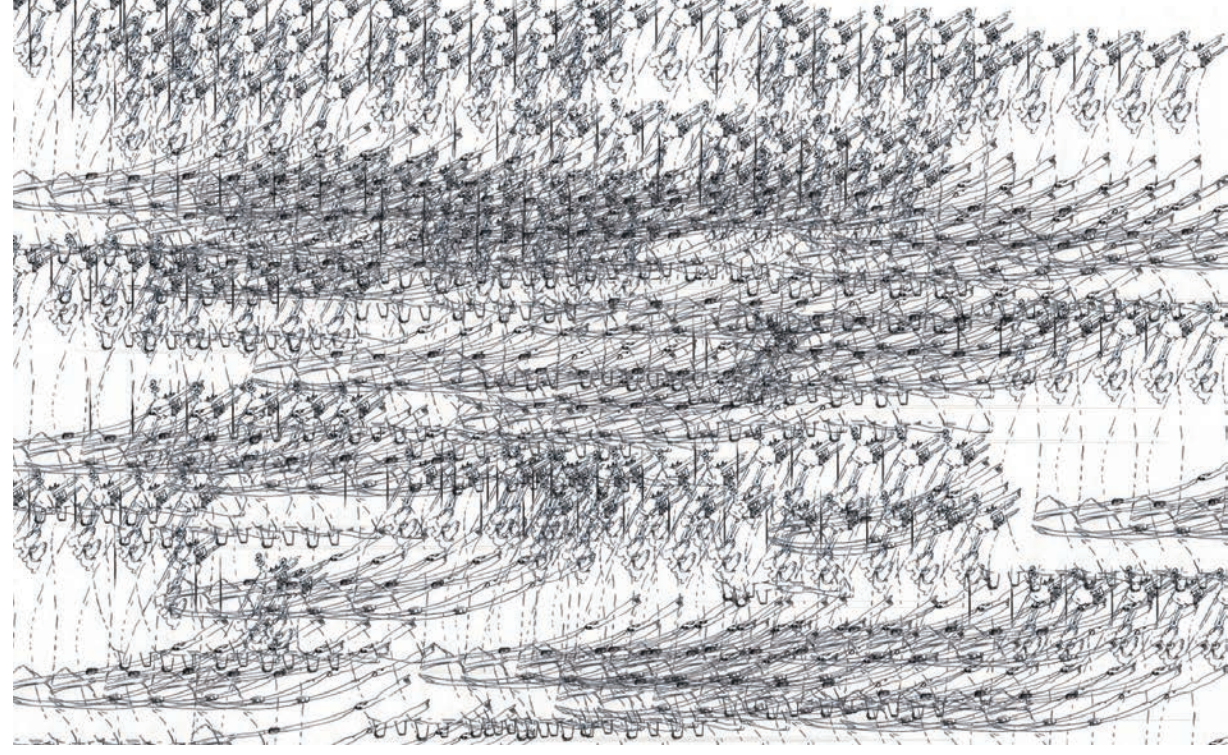
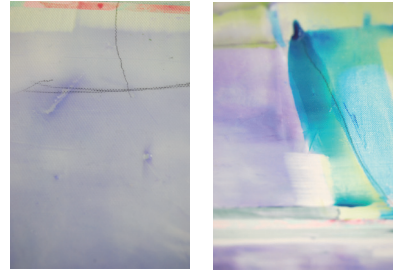
朝鮮大

孤独なアトリエ [남한 아틀리에]

武蔵美



「Masking House」130.3cmx162cm シリコン 描検具、キヤノン 2014年 1.5kg 彫物



ドローイング:テンボI サイズ可変 ドローイング加工 2014年

土屋美智子/즈치야 미치코/Michiko Tsuchiya

1989年 東京都出身/2013年 武蔵野美術大学 造形学部油絵学科油絵専攻 卒業/
2014年 武蔵野美術大学 大学院造形研究科修士課程美術専攻油絵コース 在学中

午居 悟/고이 사토루/Satoru Goi
1989年 奈良県出身/2011年 京都精華大学 芸術学部洋画コース 卒業
2014年 武蔵野美術大学 大学院造形研究科修士課程美術専攻油絵コース 在学中



photo by Syouko Takizawa

李晶玉 / 리정옥 / Lee Jong Ok

1991年 東京都出身 / 2007年 西東京朝鮮第一中学校卒業 / 2010年 東京朝鮮中高級学校卒業 / 2012年 朝鮮大学校教育学部美術科卒業 / 2014年 朝鮮大学校研究院総合研究科美術専攻 在学中



「libenter homines id quod volunt creabant.」 M8号 水彩 2014年



「無題」 52.8cm×40.8cm 木製パネル、綿布、白亜、油彩

鄭梨愛 / 정리애 / Chong Ri Ae
1991年 神奈川県出身 / 2004年 横浜朝鮮初級中学校卒業 / 2010年 北海道朝鮮初中高級学校卒業 / 2012年 朝鮮大学校教育学部美術科卒業 / 2014年 朝鮮大学校研究院総合研究科美術専攻 在学中

ノート「11月2日」



ドローイング 2014年 鉛筆

ノート「1月4日」



ドローイング 2014年 鉛筆

ノート「9月3日」

ドローイング 2013年 鉛筆



朝鮮大 X 武蔵美

孤独なアーティストの日記



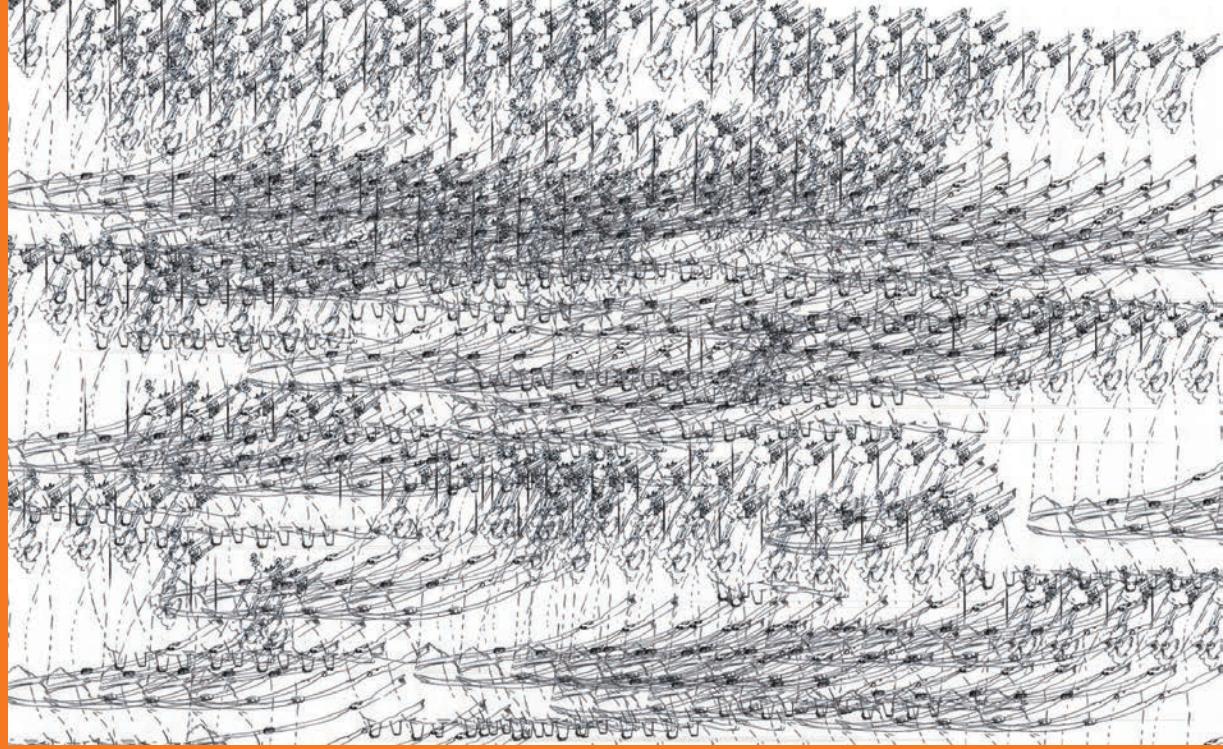
ドローイング:テンポI サイズ可変 ドローイング加工 2014年



「Masking House」 130.3cm×162cm シリコン 抽液具、キヤンズ 2014年 日 鉛筆 彫物

土屋美智子 / 츠치야 미치코 / Michiko Tsuchiya

1989年 東京都出身 / 2013年 武蔵野美術大学 造形学部油絵学科油絵専攻 卒業 / 2014年 武蔵野美術大学 大学院造形研究科修士課程美術専攻油絵コース 在学中



現

土屋美智子

母

午居器

一

武蔵美

孤独なアートエトワリアイテムの

朝鮮大

2014年10月25日(土) - 27日(月) 10時 - 18時

武蔵野美術大学 2号館 1階 F A L

鄭梨愛

会館 藝田京大 朝

玉器科

工